

自分が情けない

- ▶ この言葉には、前の日までは、「明日から必ず学校に行こう」と強く思っていたても、朝になるとまた行けなくなってしまふ。くじけてしまふ自分自身に情けないと思ふ心の葛藤が見られる。
- ▶ また、小学校から成績優秀、運動能力抜群と文武に秀でた存在だったAくんが、中学に入り部活の顧問の一言で心が折れてしまつた自分の不甲斐なさ。
- ▶ 人の目が気になり、学校で同級生と顔を合わすのがやだ。立ちふさがる障害に常に逃げてゐる自分のやるせなさ。

理事長の説得

- ▶ Aくん、まだ家に帰るのは無理だったんだよ、朝はみんな起きれないよ、俺だって朝起きるのはやだもん。

だけど、はぐれにくりゃあ嫌でも起こされるじゃん。で、みんなが散歩しに出ていくから俺もしょうがねえ行くか、て、なる。そうなつちまったら（Aくんの現状）誰かの手をかりねえとダメなんだよ。困つた時は他人に助けてもらうのが一番さ。

俺だつてずうっと他人に助けてもらつて生きてきたんだ。今だつてそうだよ、一人のできるこゝとなんかちつぽけなもんさ、おめえは一人じゃないだよ。

アウトリーチの意味

- ▶ 今回のアウトリーチは、結果的にAくんを連れ戻すことは出来なかったが、Aくんは泣きながら、「もう一回チャンスをください。それでもまた学校に行けないようだったら、その時は自分ではぐれに行きます。」と言って、「ありがとうございます。」と添えていた。

彼の中で、はぐれの生活で、なぜ理事長は余計な言葉がけをしなかったのか、毎日朝6：30分に起こされて、散歩させられなければいけなかったのか、それが、自分が再起するための一番のプログラムだったことを、Aくん自身が感じたに違いない。

アウトリーチ実地研修のまとめ

- ▶ アウトリーチも大切だが、問題は、家から出たときに何をして回復させていくかが最も重要である。
- ▶ 一度、不登校、引きこもりになってしまうと、家族ではない第三者の手助けがどうしても必要。人は親と離れて一人前になる。それも早ければ早いほど回復も早い。
- ▶ 規則正しい生活、身体を使った労働、仲間と楽しむスポーツレクリエーション、言葉ではなく、人と人がふれあい助け合う日常の中で、自然と人が再生されていく。

支援者が健康でなくちゃダメだよ。良く食べて、よく飲んで

支援者が元気なら、若い連中も自然と元気にならあ。

そんなもんよ。 by 理事長